

公益財団法人 8020 推進財団

令和 4 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：フッ化物洗口普及啓発事業
2. 申請者名：一般社団法人石川県歯科医師会会長 飯利 邦洋
(担当者氏名 理事 江尻 重文)
3. 実施組織：一般社団法人石川県歯科医師会
4. 事業の概要：

本県における 12 歳児 DMF 歯数は年々減少傾向にあるが、0.80 本(R2 年)と全国平均を 0.12 本上回っている。さらに県内の市町間で地域差もみられる。一方、本県の小中学校ではフッ化物洗口は実施されておらず、保育施設においては R2 年度、8 市町(19 市町中)で実施されたものの、施設実施率は 15.6%と低い。そこで R2 年度から県による「子どものむし歯予防対策推進事業」が開始され、フッ化物洗口未実施施設への導入支援が始まったところである。本事業は、これらの状況を踏まえ、フッ化物洗口の更なる普及啓発を目的とするものである。

5. 事業の内容：

(1) 保育施設等でのフッ化物洗口普及啓発

フッ化物洗口の効果や実施状況をまとめたリーフレット「フッ化物洗口を始めませんか」を作成し、第 43 回むし歯予防全国大会の開催案内とともに県内全域の行政母子保健担当課、保育施設や小学校等に配布し、未実施施設におけるフッ化物洗口の導入を目指した。

(2) 第 43 回むし歯予防全国大会 in ISHIKAWA の開催

テーマ：「フッ化物で育む未来の健口(～はじめの一步を踏み出そう むし歯ゼロ社会をめざして～)」

基調講演 1：「むし歯に関する最先端の科学とは？」

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野 教授 相田 潤

基調講演 2：「歯科保健を取りまく環境」

厚生労働省医政局歯科保健課

課長 小椋 正之

シンポジウム：4 題の講演と、基調講演演者を含めたティスカッション

6. 実施後の評価(今後の課題)：

令和 4 年 11 月 5 日(土)、第 43 回むし歯予防全国大会 in ISHIKAWA が本会と石川県共催のもとで開催され、152 名(県外 60 名、県内 92 名)の参加があった。リーフレット「フッ化物洗口を始めませんか」とともに県内全域の行政母子保健担当課や保育施設等に直接大会を周知したこともあり、県内の歯科職種以外(行政職員・保育士・教職員他)から 39 名の参加があった。

本大会で県内の行政、保育、教育、歯科保健関係者に向けて、フッ化物に関する正しい知識、フッ化物洗口の効果、集団で実施する意義などを発信する機会を得られたことで、県内関係機関が連携協力し『はじめの一步を踏み出す』きっかけになったのではないかとと思われる。現に来年度から新たにフッ化物洗口を導入する動きも見られている。この流れを活かして関係機関への働きかけを続けていきたい。